

なごみ探訪

来なごみに

くまもとサプライズキャラクター「くまもん」
くまもとサプライズ熊本県許可第1466号

和水町マスコットキャラクター「なごみん」

多言語観光ガイド「なごみツーリズム」




江田船山古墳公園

公園内には、国指定史跡の江田船山古墳をはじめ、出土品（国宝・レプリカ）を展示した歴史民俗資料館があります。

その他、県内各地から古民家を移築復元した肥後民家村では、宿泊体験や様々な体験、古民家カフェなどがあり、ゆったりとした空間を楽しむことができます。

また、菊水ロマン館では、地元の新鮮な採れたて野菜を使った食事や特産品の販売・ミネラル成分を含む光明石温泉等があり、隣接する和水江田川カヌー・キャンプ場では、初心者から気軽にカヌーを楽しむこともできます。

国指定史跡 虚空蔵塚古墳
(こくんぞうづかこふん)



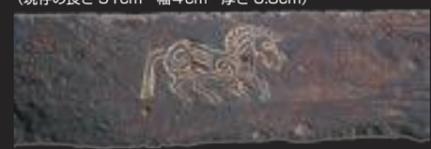
古墳主体部は未調査ですが、周溝からは円筒埴輪や人物埴輪が出土しています。整備前は墳頂に虚空蔵菩薩がまつられていたことから、この名があります。

国指定史跡 江田船山古墳 (えたふなやまこふん)
(前方後円墳・墳長 62m・5世紀後半)



国指定史跡江田船山古墳から出土した92件は、一括「国宝」として東京国立博物館に保管展示されています。金銅製冠・沓・金製耳飾り・轡・鎧・大刀・剣など、おびただしい副葬品の中にあつて一本の大刀の峯に銀で象嵌された75文字の銘文は、日本の古代史をひもとくうえで大変貴重なものです。

国宝 銀象嵌銘大刀 (ぎんぞうがんめいたち) の文様「ペガサス」
(現存の長さ 91cm・幅 4cm・厚さ 0.8cm)



大刀の峯に75文字が刻まれ、また背の部分両面に「ペガサス」「鳥・魚」の文様が描かれています。

国宝 金銅製透彫冠帽 (こんどうせいすかしぼりかんぼう)
(底部の長さ 14.6cm・幅 8.1cm)



冠帽は、二頭の龍が絡み合った文様を透かし彫りで表現されています。当時の優れた技術に圧倒されます。

国指定史跡 塚坊主古墳 (つかぼうずこふん)



古墳の主体部は石室構造で、内部の石室の内壁に赤・白・灰色で三角文や円文が描かれています。菊池川流域の装飾古墳の源流を知るうえで貴重なものです。また、四獣鏡・大刀・馬具などが出土しています。

文化財 歴史浪漫

和水町の誇りある歴史と伝統は連続として受け継がれ、今も町民の暮らしの中に息づいています。

豊前街道

熊本市新町の札辻を起点として小倉に至るもので、「小倉路」とも呼ばれ、大名(細川氏、相良氏、島津氏)の「参勤交代」にも使用されるなど、江戸時代を通じて重要な交通路でした。



国指定史跡 腹切坂 (はらきりざか) D-8

永ノ原台地から寺ノ本に下る急坂は「腹切坂」と呼ばれ、参勤交代で使用されていた豊前街道の中でも屈指の難所であったことが知られています。平成17年3月に国史跡として指定を受けました。



光行寺 B-3

江戸時代、豊前街道の要所にあり、参勤交代の細川藩主のお茶所でした。門の軒瓦には「九曜の紋」が入っており、歴史の深さを感じられます。



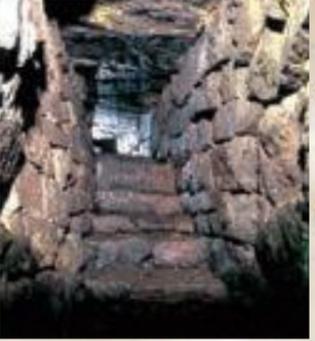
国指定史跡 田中城跡 (たなかじょうあと) B-2

田中城は、肥後国衆のひとりである和仁氏の居城です。天正十五年(1587)に勃発した「肥後の国衆一揆」では、和仁氏や辺春氏などが立て籠もる最終拠点となりました。その際、豊田秀吉軍が作成した「辺春・和仁仕寄陣取図」は日本最古の陣取図として知られています。陣取図には、城を取り巻く木柵や物見やぐら、小早川氏・立花氏・鍋島氏などの陣地が描かれています。



県指定史跡 トンカラリン B-6

江田船山古墳から続く台地東側斜面に構築されたトンネル遺構です。全長 445.1m にわたって暗渠や地隙(地割れ)などで構成されていますが、いつ誰が、何のために造られたのかは未だに謎のままです。見学するには、這うところもあるので動きやすく汚れてもよい服装と軍手、懐中電灯、膝当て、雨の後は長靴があればベストです。



トンカラリンの周辺には、西域に菊池川が流れ、江田船山古墳を中心に国指定史跡の古墳が分布しています。ここは「肥後古代の森」の菊水地区として知られる所で、今日、県道(玉名・山鹿線)が丘陵を二分していますが、もともと、同一丘陵の清原台地でした。一帯からはかつて、古代豪族の日置氏の墓誌も出土しました。近年では、松坂古墳から変形した頭蓋骨が出土しました。

八つの神様 体感浪漫



命の神様 A-2

命に関わるほどの大病にかかった時にだけ平癒祈願ができ、必ず治ると伝わっています。ただし、願かけは一生に一度きりです。



目の神様 B-3

無病息災・家内安泰に繋がるといわれ、特に目の病には効果があると言われていました。昔は、治ったら、お礼に「目」の字を書いた白布がつるしてあったそうです。



歯の神様 B-2

日本でも珍しい歯の痛みを鎮めてくれるという神様。自然石が歯の形に似ていることから信仰されるようになりました。塩や米を供えて祈願します。



耳の神様 B-2

肥後国衆一揆の時、耳が聞こえにくいために命を落とした柳川由布大炊助が祭神。耳の通りを良くなるようにとの願いを込めて「火吹き竹」が奉納され、耳疾の神として信仰されています。